

創作表現専攻2年生へ

## 「副ゼミ」希望調査について

この件について、以下の要領で「副ゼミ希望調査」の提出を受け付けます。「副ゼミ」の履修を希望する学生は、期日までに指定のフォームに入力し、送信してください。

提出期限；2023年8月21日（月）15:00（厳守のこと）

提出先；以下のリンクから指定の「希望調査フォーム」にアクセスし、送信する

<https://forms.office.com/r/5qhDgBTpbT>

注意事項；①「定員を満したゼミ」と「副ゼミ不可」のゼミ（柳井ゼミ・劉ゼミ・刈馬ゼミ・吉田ゼミ・シミズゼミ）への応募は受け付けないので注意すること。

②締切後、希望調査フォームの内容を審査した上で面接（オンラインを含む）を実施します。面接についての連絡をキャンパススクエア経由で行うので、見逃さないこと。なお、副ゼミ希望者が加わることによって定員（15名）を超過したゼミについては、副ゼミ希望者間で選抜を行います。

以上

### 《参考》ゼミガイダンス資料より「複数ゼミ登録制度について」抜粋

この制度は、意欲的な学生の学修機会の拡大と、一層の学修意欲の向上をねらいとして設けられたプログラムである。

たとえば、Aゼミに所属しながら（これを「主ゼミ」と呼ぶ）、Bゼミにも所属して（これを「副ゼミ」と呼ぶ）、主ゼミと副ゼミの双方の領域を学修しながら、領域横断的かつ総合的な力を身につけつつ、その成果を「卒業プロジェクト」に結びつけることを目指す制度である。ゼミの組み合わせとしては、以下のような例が想定される。

- ・異なる領域の複数の創作系ゼミに所属して、メディアミックスもしくはクロスカルチャー要素の高い創作物を製作することを目指す。
- ・同じ領域の複数のゼミに所属して、学修機会を増やし、複数の先生から専門性の高い指導を受ける。
- ・創作系ゼミに所属する学生がリサーチ系のゼミにも所属して、たしかな理論に裏づけられた創作物を製作することを目指す。

ゼミの複数受講はそれ相応の負担を伴うものであり、安易な利用は好ましくないが、意欲的で問題意識の高い学生がこの制度を使って視野を広げ、専門領域の理解をさらに深めることを期待したい。

この制度を利用できるのは、以下の条件が揃った場合のみである。

- ① ゼミ担当者が「副ゼミ」の受け入れを認めていること（ガイダンス資料参照）
- ② 「副ゼミ」が定員を満たしていないこと
- ③ 2年後期から4年後期まで継続して学修する意欲が認められること（希望学生には面接を実施する予定）
- ④ 2年前期までの履修済み単位が50単位以下でないこと。1年次のGPAが1.5以下でないこと

なお、複数のゼミに所属する学生は、4年前期の履修登録をする際に、所属するゼミの中から「卒業プロジェクト」に取り組むゼミを選択する。その際には、所属するゼミ担当の先生と十分に相談した上で選択することが肝要である。